



けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、
たくましく生きる子どもの育成

令和元年12月2日

ロールモデルに出会う場 『上妻まつり』

先日（24日）の『上妻まつり』には、たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。

また、第一部の学習発表会では、熱心に子ども達の発表を聞いていただきました。

どの学年の子ども達も、先生方の熱心なご指導のもと練習に取り組んでできましたが、当日はその練習の成果が十分に発揮された素晴らしい発表だったと思います。

『上妻まつり』に関わっていただきました上妻校区の方々、PTA役員さんを始め、多くの方々に感謝申し上げます。



さて、「**ロールモデル**（role model）」という言葉をご存知ですか。

「**ロールモデル**」とは、自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となる人物のことです。

人は誰でも無意識のうちに「あの人のようになりたい」というロールモデルを持ち、その影響を受けながら成長するといわれています。

例えば、スポーツをしている子どもであるならば、「僕は〇〇選手のようにになりたい。」「上級生の〇〇君のようにになりたい。」と思うことがあると思いますが、この〇〇選手、〇〇君にあたる人がロールモデルです。

実を言うと、現代っ子にはこの「**ロールモデル**」になるべき人、模範となるべき人が少ないと言われていています。それは、以前に比べて、子ども達が保護者や先生以外の大人や、上級生との関わり合いが少なくなっているのが要因の一つです。

私の世代は、まだまだ地域のなかでの人と人とのつながりが強く、近所のおっちゃんから魚やウナギの捕り方、小刀の使い方などたくさんのことを学びました。隣近所の上級生と遊ぶなかで、水泳や虫の採り方など自然のなかでの遊び方を習いました。

そのなかで、「**あのおっちゃんは、すごいな。**」「**上級生の〇〇君のようにになりたいな。**」と憧れを抱いたものです。

最近、「**郷土を愛する**」とか「**地域に誇りを持つ**」というフレーズをあちこちで耳にしますが、子どもたちが生まれ育った地域やふるさとを愛するようになるということは、自然環境、郷土芸能や祭りなど有形無形の地域資源そのものを愛するというより、それらに関わる「人」を愛し、誇りに思うことなのではないかと思えます。つまり、地域で輝いているあんな大人になりたいというロールモデルに出会うことではないかと思うのです。



そういう意味では、『上妻まつり』は、子ども達が祭りを通して地域で輝いている方々と出会う場であり、ロールモデルを見つける場でもあるのです。

12月の主な行事

- 1日（日） バザー（PTA）
- 10日（火） チャレンジテスト（4年）
- 12日（木）～13日（金） 学力テスト
- 16日（月） 弁当の日（6年）
- 17日（火） 避難訓練
- 20日（金） クラブ活動見学（3年）
- 24日（火） 大掃除
- ※ 冬休み 25日（水）～1月7日（火）
- 授業開始日 1月8日（水）

11月17日に大阪市の小学6年生の女の子が誘拐され、24日に栃木県小山市で無事に保護されるという事件が起きました。容疑者と女の子が知り合ったのが、ツイッターです。ツイッターでも非公開で他のユーザーとやりとりできる「ダイレクトメッセージ」と呼ばれる機能を使っていたとのこと。

小学生のスマホ所持率も年々増加しています。

保護者の方々は、子どものスマホの活用状況を確認されるなど、その管理には十分気をつけてください。



「だいすき掃除」で育つ心 ～ぞうきんがよごれてきて気持ちいい～

「だいすき掃除」を本格的に始めて一ヶ月が経ちました。子ども達は、**気働き力**を発揮して「だいすき掃除」をがんばっています。

さて、6年1組で子ども達に自分の掃除をする姿を振り返ってもらいました。

○すみずみまで、一生けん命きれいにできました。けれど、「だまって」を達成できませんでした。役割を分けるときにしゃべってしまったからです。だから、掃除の前までに、話すことは話しておこうと思います。

(前川龍輝さん)

○今日は、初めての体育館の掃除でトイレ掃除をしました。始め、大津先生が、トイレのゆかをふいてと言ったので、わたしは「ウェー」と思っていたのに、やってみると「ぞうきんがよごれてきて気持ちいい。」と思いました。

(大坪叶奈さん)

○今日は2回目のトイレ掃除でした。二人とも役割が終わって時間が余っているときにるいさんが見つけ掃除をして、洗面所をみがいていました。人から言われてからでなく、自分からすみずみまでそうじをできるようにがんばります。

(安達琉晴さん)

○今日、そうじではなく、少しゴミが散らばっているのに気がつきました。給食のパンのふくろがいっぱい散らばっていたので、それに気づいたはるきさんが、拾っているところを見ました。なんで自分は拾わなかったんだろうと思いました。月曜日からは、周りを気にして、掃除時間ではなくてもゴミを拾っていきたいです。

(井手小春さん)



トイレのスリッパがそろろう

さて、本校では十一月に環境委員会による「トイレのスリッパを並べよう」というという取組が行われました。

その取組が行われている間、どのトイレのスリッパもきれいに並んでいましたが、3階の高学年のトイレのスリッパは、いつもきれいに並んでいません。

さて、教育哲学者である森信三氏は、「しつけの三原則」いうのを提唱されています。

三原則とは、「はご」「おはごつ」「はきまの」の3つです。

- 1 返事ができる。
- 2 あいさつができる。
- 3 いす、靴をきちんとそろえられる。

ずいぶん前の話ですが、東京の田園調布中学校では、この考え方をもとに「**いすだけの目標**」を決めました。「**席を立つときいすを戻す**」という目標です。

たったこれだけと思われるかもしれませんが、これが難しい。この中学校では、「いすを戻す」という行動が身につくまで、一年近くかかりましたし、身につくようになると、学習成績はもとより、部活動の成績も良くなっていたとのことです。

是非、ご家庭でもやってみませんか。
「いす、靴をきちんと

そろえよう」

